

発効日 2020年02月11日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: IR-91B

製品番号 (SDS NO): AX0P001\_J-1

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: ユニオンケミカー株式会社

住所: 大阪府枚方市招提田近3-10

電話番号: 072-856-5785/072-856-3322

FAX: 072-866-2647

緊急連絡先電話: 072-856-3321

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

(注) 記載なきGHS分類区分: 該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.
カーボンブラック	1 - 10	1333-86-4
C.I. ピグメントブルー 1	1 - 10	1325-87-7
染料	1 - 10	非公開
油剤	70 - 80	非公開

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

カーボンブラック, C.I. ピグメントブルー 1

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

カーボンブラック, C.I. ピグメントブルー 1

化管法「指定化学物質」該当成分

C.I. ピグメントブルー 1

## 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

水を使用してはならない。

噴流水を消火に用いてはならない。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。

参考情報

第8章参照

第13章参照

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策データなし

安全取扱注意事項

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

(C.I. ピグメントブルー 1)

ACGIH(1999) TWA: 0.5mg-Mo/m<sup>3</sup>(R) (下気道刺激) (可溶性化合物)

TWA: 10mg-Mo/m<sup>3</sup>(I); 3mg-Mo/m<sup>3</sup>(R) (下気道刺激) (不溶性化合物)

(カーボンブラック)

ACGIH(2010) TWA: 3mg/m<sup>3</sup>(I) (気管支炎)

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

臭い：特有臭

臭いの閾値データなし

pH：適用外

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

蒸発速度データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

自己促進分解温度/SADTデータなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

引火点：170°C

自然発火点データなし

臨界温度データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

VOCデータなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

20°Cでの蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし

密度及び/又は相対密度データなし

動粘度データなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度データなし

溶媒の溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

粒子特性データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

重合暴走反応は生じない。

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

### 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

### 混触危険物質

強酸、強塩基、酸化性物質、還元性物質

### 危険有害な分解生成物

炭素酸化物

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

### 局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

### 発がん性

[会社固有データ]

(カーボンブラック)

粉じんとして扱うことはなく、液体中または固体中に分散された状態のため、区分外とした。

(カーボンブラック)

IARC-Gr.2B：ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(カーボンブラック)

ACGIH-A3(2010)：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(C.I. ピグメントブルー 1)

ACGIH-A3(1999)：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(カーボンブラック)

日本産衛学会-2B：人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

### 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分に該当しない]

[会社固有データ]

(カーボンブラック)

粉じんとして扱うことはなく、液体中または固体中に分散された状態のため、区分外とした。

誤えん有害性データなし

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

### 水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)成分データ

[会社固有データ]

(カーボンブラック)

甲殻類(オオミジンコ) LC50 > 5600mg/L/24hr (SIDS, 2006)  
水溶解度  
    (カーボンブラック)  
    溶けない(ICSC, 2010)  
残留性・分解性  
残留性・分解性データなし  
生体蓄積性  
生体蓄積性データなし  
土壌中の移動性  
土壌中の移動性データなし  
他の有害影響  
オゾン層への有害性データなし

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法  
    内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。  
汚染容器及び包装  
    容器は有害廃棄物として処理する。

### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない  
環境有害性  
    MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止  
    海洋汚染物質(該当/非該当): 非該当  
国内規制がある場合の規制情報  
    船舶安全法に該当しない。  
    航空法に該当しない。

### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。  
労働安全衛生法  
    特化則に該当しない製品  
    有機溶剤等に該当しない製品  
    名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物  
    名称表示危険/有害物  
        カーボンブラック; C.I. ピグメントブルー 1  
    名称通知危険/有害物  
        カーボンブラック; C.I. ピグメントブルー 1  
化学物質管理促進(PRTR)法  
    第1種指定化学物質  
        C.I. ピグメントブルー 1  
消防法  
    第4類 引火性液体第3石油類 危険等級 III(指定数量 2,000L)  
化審法に該当しない。  
大気汚染防止法  
    有害大気汚染物質  
        C.I. ピグメントブルー 1  
水質汚濁防止法  
    指定物質

C.I. ピグメントブルー 1  
法令番号 46

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)  
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 : 2019  
JIS Z 7252 : 2019  
2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information

### 責任の限定について

本「安全データシート」は日本国内のみ有効で諸外国については各国の法規によって規制されますので御注意下さい。

業界自主規制により印刷面が直接、食品に触れる所に印刷しないで下さい。

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

ここに示す情報は誠意をもって作成していますが、明記があるにしても保証はありません。これ以上の情報については当社にご相談ください。

この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性又は完全性について、何も責任を取ることはできません。全ての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものです。全ての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。